# 2023年 ふくやま書道美術館催物案内

4月

日曜 常設展示室·展示室 土 2 日 展示替えのため休館 4月1日(土)~4月4日(火) 月 火 4 5 水 春の所蔵品展 「明末ロマン派 8

―王鐸・瑞図・傅山らの熱情」

会期:2023年4月5日(水)~5月14日(日)

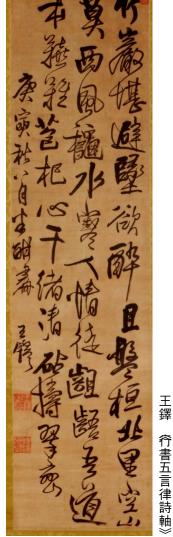
休館日:月曜休館 ※ただし 5月1日(月)は開館。

会 場:常設展示室・展示室

## 展覧会内容

中国・明代の末期には張瑞図(1570~1641)をはじめ, 黄道周(1585~1646), 倪元璐(1593~1644), 王鐸 (1592~1652), 傅山(1607~1684)らが巨大な紙絹に, 草書を一筆で連続して書く、連綿草を展開し、新たな書表現を 追求しました。彼らの作品からは書の技芸だけでなく、詩書画 の愉みを持っていたことが窺えます。後には「明末ロマン派」 と呼ばれ、書道史上、欠かすことのできない重要な一群として 親しまれてきました。一方で、彼らの書画には多彩な筆致を見 ることができ、筆の動きをたどり作品に表出した作者の気迫や 熱意、時流に思いを馳せるのも、書画を味わうひとつの方法と 言えるでしょう。

本展は明末ロマン派と同時代の人びとの書画に光を当て、 万彩に咲き誇った筆墨の広がりを展観します。



ちょこっと知るつ!明末ロマン派の熱情!?

今回の所蔵品展のタイトルに「Dマン」や「熱情」という言葉が入って いて, とてもドラマチックに感じますね…しかし, なぜロマン派と呼ば れ、どうして熱情と表現されるのでしょうか? ちょこっとご紹介します!

ロマン派と呼ばれる彼らの生きた時代は、漢民族の統治する明王 朝が役人の汚職と反乱とともに疲弊していった時期から,満州民族 が次なる清王朝として中国全土を統一する「明末清初」と言われる 期間であり、動乱の時世でした。

明末までは呉派・華亭派などと呼ばれる各派がグループを作り、流 れに沿うように続いているのですが、ロマン派と呼ばれる人たちは、あ る意味で、「派」ではありません。当時の時勢からその境遇に身をゆだ ねるしかなかった彼らの心を表わしているかのようですが、各自、散発 的に活動しており、独特な筆の動きの作品が多く世に残されています。

それまでは、巻子・冊子型の書作品が多かったのですが、建築様式 の変化も相まって条幅型の大きな作品が生まれたのも、彼らDマン 派の表現の幅が広がった要因といえます。

旺文社の国語辞典では「Dマン」の語源である「Dマンチシズム (romanticism)」とは、文芸において、感情の優越を強調し主観的な 美や空想を重んじる立場。と記されています。

つまり、自らの境遇を受け入れながらも、理想を追い求める「ロマン」 と、自らの意思を貫く「熱情」を持っていた人たちということですね!

### 所蔵品展観覧料 一 般 150円 (120円) 高校生以下無料 ※()内は有料20名以上の団体料金

#### 次の方は観覧料が無料です

- ■社会福祉施設に入所されている方
- ■福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方 (運転免許証や健康手帳など、住所・年齢が確認できるものが必要)
- ■身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持 参する方, 及びその介護者1名

※開館時間は午前9時30分から午後5時までです。 の日】は休館日です。

〒720-0067 福山市西町二丁日4番3号 JR福山駅福山城口(北口)から西へ約400m №084-925-9222 Webページ www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/ 電子メール syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp

月 火 水

26 木 27

9  $\boldsymbol{\mathsf{H}}$ 

月 10

火

水 12

木 13

余

土 15

日

月

火

金 21

土

日

16

18

23

20 木

28

土 30日